



## 沼津市とUR都市機構とのまちづくり推進における 連携に関する基本協定の締結及び締結式の開催について

沼津市と独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、沼津市が進める「人と環境を大切に作る県東部広域拠点都市」の実現に向けたまちづくりを推進することを目的として、相互に連携する協定を締結します。

### 【締結式の概要】

- (1) 日 時 平成 30 年 8 月 21 日（火）13 時 30 分 ～ 14 時 00 分  
 (2) 会 場 沼津市役所 4 階 特別応接室  
 住所：静岡県沼津市御幸町 16 番 1 号  
 JR沼津駅から徒歩 15 分。バスで約 5 分

### (3) 出席者

沼津市	独立行政法人都市再生機構中部支社
市長 <small>よりしげ しゅういち</small> 頼重 秀一	支社長 <small>すがぬま あきら</small> 菅沼 明
副市長 <small>しんや かずしげ</small> 新屋 千樹	都市再生業務部 まちづくり支援室長 <small>つちだ きみお</small> 土田 公生
都市計画部長 <small>すぎもと かずや</small> 杉本 一也	都市再生業務部 まちづくり支援室 まちづくり支援課長 <small>すがわら としふみ</small> 菅原 敏文

### 【本協定に基づく連携事項】

- ・ まちづくり方針及び整備計画の策定
- ・ 官民連携による都市機能の誘導並びに更新
- ・ 沼津駅駅前広場の再整備など公共空間の再編
- ・ その他持続可能なまちづくりを行うにあたり必要な事項

お問い合わせは下記へお願いします。

- ◆ 沼津市  
都市計画部 まちづくり政策課（報道担当） 電話：055-934-4760（内線 2573）
- ◆ UR都市機構中部支社  
総務部 総務課（報道担当） 電話：052-968-3305

## 【協定締結の背景及び目的等】

### 1) 背景

沼津市においては、平成 29 年 1 月に第 2 次沼津市都市計画マスタープランを策定し、「人と環境を大切に作る県東部広域拠点都市」の実現を図るため、人口減少社会に対応する「持続可能なまちづくり」に取り組むとともに、様々な社会情勢の変化に対応すべく「中心市街地と各拠点の連携」、「沼津駅周辺整備を中心とした中心市街地のまちづくり」、「新たな交通基盤を活かしたまちづくり」、「安全・安心のまちづくり」の「4つの視点のまちづくり」を戦略的に展開しております。

なかでも、沼津駅周辺については、鉄道高架をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業による都市空間再編の機会を活かし、魅力的な都市空間形成に向けた取り組みを推進していく必要があるとして、「まちづくり戦略会議」を開催し、中心市街地の現状と課題等を整理するとともに、有識者からいただいた意見を踏まえ、中心市街地のまちづくりにおける検討の考え方について中間的に整理した「沼津市中心市街地まちづくり戦略に向けて」を平成 30 年 5 月に公表しました。

一方、UR都市機構では、地方都市におけるコンパクトシティの実現に向けた都市構造の再構築といった政策課題に対し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2017改訂版）」も踏まえ、地方公共団体やまちづくり活動の担い手等と連携し、都市機能・居住機能の誘導、老朽建物・低未利用地の再編・再整備及び中心市街地の活性化、地方再生コンパクトシティの支援、民間事業者との連携等のノウハウの提供並びに技術支援を行い、各地域の特性を踏まえたまちづくりに取り組んでいます。

中心市街地を含めまちづくりを進めて行く沼津市と、公平・中立な立場で都市再生を推進するUR都市機構とが「まちづくり推進における連携に関する基本協定」を締結することは、停滞していた沼津市の中心市街地を含めた市のまちづくりを進めて行く上で大変有効であると判断し、協定締結に至ったものです。

### 2) 目的

沼津市とUR都市機構が相互に連携の上、沼津市が進める「人と環境を大切に作る県東部広域拠点都市・沼津の実現」に向け、社会情勢の変化に対応する持続可能なまちづくりに協働で取り組むことを目的とします。

### 3) 本協定に基づく連携事項

- ・ まちづくり方針及び整備計画の策定
- ・ 官民連携による都市機能の誘導並びに更新
- ・ 沼津駅駅前広場の再整備など公共空間の再編
- ・ その他持続可能なまちづくりを行うにあたり必要な事項

#### 4) 特記事項

UR都市機構と静岡県内の自治体とのまちづくり推進における協定締結は、沼津市が初めてのこととなります。

また、UR都市機構は、JR沼津駅北口周辺の土地区画整理事業の施行実績を有しており、平成30年3月には、沼津市の要請に基づき、旧西武沼津店本館跡地を取得しています。